

世界の情勢(ヨーロッパ) II

科目ナンバリング ARS-104
【IV】 選択 2単位

清水 雅大

1. 授業の概要(ねらい)

現在、グローバル化のさらなる進展のなかで、ヨーロッパ諸国において偏狭なナショナリズム、自文化中心主義や排外主義が広がりを見せている。このような状況において現代ヨーロッパを多角的に理解するために、「現在」とのつながりのなかで差別と迫害の歴史を見直すことが重要である。そこで授業では、ナチ・ドイツによるホロコースト(ユダヤ人虐殺)の歴史、そして戦後ドイツにおける「過去の克服」の過程について学び、現代ヨーロッパ社会の歴史的背景を考える(目的①)。さらに、ヨーロッパ現代史をたんに知識として知るだけでなく、移民問題や右傾化現象など、EU諸国がまさに現在直面している諸問題を、歴史的な視座をもって考える姿勢を身につける(目的②)。

2. 授業の到達目標

- 1.戦後ドイツ・ヨーロッパにおいてホロコーストの過去がどのように扱われてきたかについて、確かな科学的知見に基づいて具体的に説明することができる。
- 2.現在、EU諸国が抱えている分断と排外主義の問題を、歴史的なパースペクティブのなかで考えることができる。

3. 成績評価の方法および基準

期末試験or レポート(受講者数による):60% 小課題等:40%

4. 教科書・参考文献

教科書

武井彩佳 歴史修正主義 中公新書、2021年

参考文献

三好範英 メルケルと右傾化するドイツ 光文社新書、2018年

フォルカー・ヴァイス ドイツの新右翼 神泉社、2019年

5. 準備学修の内容

- ・高校世界史のヨーロッパ戦後史を復習しておくこと。

6. その他履修上の注意事項

- ・「世界の情勢(ヨーロッパ) I」を履修していること。
- ・授業中の迷惑行為(私語、飲食、携帯電話、遅刻・途中退室など)は厳禁です(守られない場合には受講を認めない)。
- ・積極的・主体的な授業参加を求めます。

7. 授業内容

- 【第1回】 〈オリエンテーション〉
世界の情勢(ヨーロッパ) II で学ぶこと(概要、目的、方法)、テキスト、成績評価、受講上の注意について
- 【第2回】 戦後ドイツの歩み①: 占領から分断へ
- 【第3回】 戦後ドイツの歩み②: 二つのドイツ
- 【第4回】 戦後ドイツの歩み③: 分断から統一へ
- 【第5回】 ホロコーストの過去への取り組み①: 記念碑と博物館
- 【第6回】 ホロコーストの過去への取り組み②: 「想起の文化」
- 【第7回】 歴史修正主義①: ニュルンベルク裁判への不満
- 【第8回】 歴史修正主義②: 戦争責任をめぐる
- 【第9回】 歴史修正主義③: ホロコースト否定論の登場
- 【第10回】 歴史修正主義④: アウシュヴィッツ否定論の虚妄性
- 【第11回】 歴史修正主義⑤: 歴史家論争
- 【第12回】 歴史修正主義⑥: 否定論をめぐる裁判と法規制
- 【第13回】 現代ドイツにおける極右勢力の拡大と排外主義
- 【第14回】 【オンライン講義】戦後史のなかのヒトラー・イメージ
- 【第15回】 まとめと期末試験